

プラごみコースターを作ろう！

私は現在、大阪大学大学院工学研究科で化学について学んでいます。なかでも私が所属している宇山研究室ではバイオマスプラスチックや自然由来の素材を利用した機能性高分子材料について研究しており、環境保護に寄与できる技術の開発に取り組んでいます。このように環境に配慮した材料を専門とする研究室として昨年から行っている取り組みが、小学生を対象としたプラスチックごみを再利用してコースターを作るイベントです。

近年、プラスチックごみの排出量は増加しており、ごみ処理の際に発生する二酸化炭素や、ポイ捨てによる海洋汚染など深刻な環境問題を引き起こしています。このイベントでは子どもたちに研究室まで来てもらい、本来ごみとなるはずだったプラスチックを再利用してコースターを作ることで、楽しみながら環境問題について知ってもらうことを目的としています。このコースターの土台となる部分には、化粧品などに用いられるチューブ状の容器の製造時に出る廃材を使用しており、色も透明や赤色、ピンク、水色など多様です。さらに、お菓子の包装袋やペットボトルのラベルなどを切り抜いて作ったトッピングと組み合わせることで自分だけのデザインをもつオリジナルコースターを作ることができます。

このイベントは昨年からはまり、今年で 2 回目となります。今回は研究室に所属する学生が主体となって企画を行い、私たち年上のメンバーを中心にタイムスケジュールの作成や必要な物の手配など、子どもたちが安全に作業できるよう考えながら準備を行いました。また、プラスチックに関するクイズも用意し、子どもたちが楽しみながら学んでもらえるよう工夫しました。さらに今年からは、コロナ禍で用いられていたアクリルパネルを再利用して得られる廃アクリル樹脂を用いたレジンアクセサリー作りの体験も新たに取り入れ、リサイクルに様々な方法があることを伝えることができたと感じています。綿密な準備の甲斐あってイベント当日はスムーズに企画を進行でき、子どもたちも積極的に参加してくれました。特にコースター作りでは、一人ひとりが自分のデザインを考え、工夫を凝らして取り組んでいる姿が印象的でした。コースターが完成した後は、互いに作品を見せ合い楽しむ様子も見られ、こちらとしても非常にやりがいを感じました。当日の様子は大阪大学工学部のホームページにも記事が掲載されていますので、興味がありましたらご覧いただければ幸いです。

今回のイベントを通じて子供たちがプラスチックごみ問題に興味をもち、日常生活のなかでプラ製品を大事に使い、正しく分別するきっかけとなれば嬉しく思います。特に、小学生が環境問題に興味を持つことは、持続可能な社会の実現に向けた第一歩であり、このような機会を今後も提供していくことが重要だと実感しました。また、イベントの企画を通じて

チームワークやコミュニケーションの重要性を学び、自分自身も成長できたと感じています。今後も化学者として、環境問題の解決に向けた技術やアイデアを模索し、自分の研究を通じて社会に貢献していきたいと考えています。今回の経験を糧に、さらに知識やスキルを磨き、持続可能な未来の実現に向けて努力を続けていきます。